

## I 概要

### 【内政】

- 1, 15日 ジャーナリストに対する攻撃事案の発生
- 11, 17日 閣僚等の辞任
- 16日～27日 政府とコロンビア革命軍（FARC）との和平交渉（於：ハバナ）
- 17, 23日 ラ・グアヒラ県におけるスペイン人観光客2名の誘拐等

### 【外交】

- 8～12日 独大統領のコロンビア訪問
- 11～13日 サントス大統領のバチカン訪問
- 14～15日 オルギン外相のポスト2015年開発目標ハイレベルパネル（HLP）会合出席（於：NY）
- 16日 オルギン外相のペルー訪問
- 17日 米州機構（OAS）による「米州における麻薬問題に関する報告書」の発表
- 22～23日 太平洋同盟閣僚・首脳会合の開催（於：カリ）
- 24日 サントス大統領のエクアドル大統領就任式出席（於：キト）
- 25～27日 パレスチナ自治政府外相のコロンビア訪問
- 26～27日 バイデン米国副大統領のコロンビア訪問
- 28～30日 カプリレス・ベネズエラ元大統領候補のコロンビア訪問
- 31日 オルギン外相のエクアドル訪問

## II 本文

### 【内政】

#### 1 ジャーナリストに対する攻撃事案の発生

1日、当地政治誌「セマナ」記者に対する脅迫及び発砲事案が発生したほか、同社内に盗聴器等が発見された。また、15日、治安問題を扱うアルコ・イリス財団所属のジャーナリストに対する攻撃が行われ、政府は、言論の自由を守るための治安対策を強化する旨発表した。

#### 2 閣僚等の辞任

11日、レストレポ農業・地方開発大臣が、4月17日、サントス大統領に辞表を提出していたことが判明した。6月3日、エストゥピニャン農業銀行総裁が新大臣に就任した。また、17日、コロンビア大統領府は、バルガス・ジェラス住居・都市・国土大臣及びメサ大統領府官房長官が辞任する旨発表した。バルガス大臣は、「良い政府」財団理事長（公

共政策に関する提言を行う1994年設立のシンクタンク)、メサ大統領府官房長官は同財団事務局長に就任する。バルガス大臣の後任は、エナオ副大臣となる見込み。

### 3 政府とコロンビア革命軍(FARC)との和平交渉(於:ハバナ)

16日~23日、ハバナにおいて、政府とFARCとの和平交渉が行われ、「紛争終結及び安定・持続的平和の構築のための一般合意」に基づき、これまで6ヶ月にわたり交渉してきた「総合農村開発」につき合意した。合意の発表は、「保証人」(garante、交渉に同席)として、キューバよりコシオ在南ア大使、ノルウェーよりニーランダー外務省和平特別顧問、「見守り役」(acompanate、交渉につき定期的に相談)として、チリよりスコークニツク在アルゼンチン大使、ベネズエラよりチャデルトンOAS常駐代表が同席の下行われた。今後、残っている5つの論点(政治参加、社会再統合、麻薬対策、犠牲者の権利、及び実施・検証・確認)のうち、6月11日から「政治参加」につき議論が再開される予定。

### 4 ラ・グアヒラ県におけるスペイン人観光客2名の誘拐等

17日、ラ・グアヒラ県のベネズエラ国境付近において、スペイン人観光客2名が誘拐された。ベラスケス県副知事は、ラ・グアヒラ県の先住民族ワユ族の部族会議に出席し、警察や軍と同等の権限を有するワユ族代表らと話し合い、スペイン人2名の捜索への協力及び情報提供につき支援をとりつけた。23日、カリ市で行われた太平洋同盟第7回首脳会合終了後の記者会見において、サントス大統領は、コロンビア政府は、スペイン及びカナダ政府と事件発生当初より常時コンタクトをとりつつ、慎重かつ静かに対応している旨述べた。また、23日、同県において、入国管理事務所長及び護衛の警察官に対するテロ事件が発生し、4名が死亡した。

## 【外交】

### 1 独大統領のコロンビア訪問

8~12日、ガウク独大統領がコロンビアを訪問し、サントス大統領と会談、商工会議所の創設に合意したほか、コロンビアのOECD加盟に対する支持を表明した。ガウク独大統領は、ボゴタのほか、メデジンを訪れた後、ブラジルに向けて出発した。

### 2 サントス大統領のバチカン訪問

11~13日、サントス大統領は、コロンビアの修道女ラウラ等の列聖式に出席するため、バチカンを訪問した。13日、サントス大統領は、オルギン外相、ガビリア・メデジン市長、カルドナ駐バチカン大使らを伴って、フランシスコ法王を15分程度表敬訪問し、サントス大統領は、和平実現のための努力を続ける勇気とエネルギーを法王から与えられたと述べた。

### 3 オルギン外相のポスト2015年開発目標ハイレベルパネル(HLP)会合出席

14~15日、オルギン外相は、NYで開催されたポスト2015年開発目標ハイレベルパネル(HLP)会合に出席し、事務総長に提出するポスト2015年開発目標に関する

る報告書の作成に取り組んだ。

#### 4 オルギン外相のペルー訪問

16日、オルギン外相はアンデス共同体（CAN）外相会合及びイベロアメリカ事務局諮問委員会に出席したほか、着任したばかりのリバス・ペルー外相と国境地域発展計画等につき意見交換し、同外相の就任を祝福した。

#### 5 米州機構（OAS）による「米州における麻薬問題に関する報告書」の発表

17日、インスルサ米州機構（OAS）事務総長は、サントス大統領に対し、米州における現行の麻薬対策を検証・分析し、今後の政策の方向性を検討するため、「米州における麻薬問題に関する報告書」を提出した。

#### 6 太平洋同盟閣僚・首脳会合の開催（於：カリ）

22～23日、カリにおいて、太平洋同盟閣僚・首脳会合が開催され、経済成長と発展、福祉の向上のため、太平洋同盟と第三国間における貿易、及び投資の流れを強化し、協力を深化させていく重要性について確認するカリ宣言が発出された。今次会合により、議長国がチリより、コロンビアに交代した。太平洋同盟のオブザーバー国として、日本より若林政務官が出席した。

#### 7 サントス大統領のエクアドル大統領就任式出席（於：キト）

24日、サントス大統領は、オルギン外相とともに、エクアドル大統領の就任式に出席した。就任式には、フェリペ・スペイン皇太子、マドゥーロ・ベネズエラ大統領、ロボ・ホンジュラス大統領、モラレス・ボリビア大統領、チンチージャ・コスタリカ大統領、ピニェラ・チリ大統領、マテリ・ハイチ大統領、サーカシヴィリ・グルジア大統領、若林政務官等、約90の国々及び国際機関代表が出席した。

#### 8 パレスチナ自治政府外相のコロンビア訪問

25～27日、マルキ・パレスチナ自治政府外相はコロンビアを訪問し、オルギン外相と会談、6月に予定されているサントス大統領のパレスチナ訪問に向けた準備を行った。

#### 9 バイデン米国副大統領のコロンビア訪問

26～27日、バイデン米国副大統領はコロンビアを訪問し、サントス大統領と会談し、エネルギー、教育、環境、FTAを含む貿易、治安等について意見交換した。また、麻薬問題につき、これまでの麻薬対策に関する協力の成果のみならず、今後、米州機構（OAS）が発表した「米州における麻薬問題に関する報告書」に関する意見交換を行った。

#### 10 カプリレス・ベネズエラ元大統領候補のコロンビア訪問

28～30日、カプリレス・ベネズエラ元大統領候補は、コロンビアを訪問し、サントス大統領、バレラ国会議長等と個別に会談したほか、当地在住ベネズエラ人との会合に出

席した。30日、当地在住ベネズエラ人の会合に出席したほか、記者会見に応じ、対政府批判の上、野党連合（MUD）への支持を呼びかけたことから、マドゥーロ大統領を始めとするベネズエラ政府より批判を受けることとなった。

#### 11 オルギン外相のエクアドル訪問

31日、オルギン外相はエクアドルを訪問し、キトの総領事館の開館式に出席した。エクアドルには首都圏を中心に約9万人のコロンビア人が在住している。

（了）